

(社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 86

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：室橋 高男

〒060-0033

札幌市中央区北3条東8丁目

JA北海道厚生連

札幌厚生病院 臨床工学技術部門

TEL 011-261-5331

FAX 011-271-5320

平成21年度(社)北海道臨床工学技士会総会 開催のお知らせ

平成21年度(社)北海道臨床工学技士会総会が開催されます。会員皆様多数の出席をお願いいたします。なお委任状の回収には毎年のように大変苦慮しております。都合により出席できない方は、委任状を期限内に必ず返信くださいますようお願いいたします。

会期 2009年 5月31日(日)

会場 北大学術交流会館 2階講堂

第19回日本臨床工学会 及び平成21年度(社)日本臨床工学技士会総会

第19回日本臨床工学会および通常総会が下記日程で徳島県にて開催されます。皆様多数のご参加をお願い致します。

詳細は第19回日本臨床工学会ホームページ (<http://www.jacet19.jp/index.html>) または道臨工ホームページをご覧ください。

会期 2009年 5月9日(土)～10日(日)

会場 徳島県立産業観光交流センター “アスティとくしま”

(社)北海道臨床工学技士会会長賞決定!!

道内の各臨床工学技士養成校の成績優秀者に贈られる(社)北海道臨床工学技士会会長賞が、今年度の卒業生の中から以下の3名に決定されました。

札幌医療科学専門学校 臨床工学技士科	須藤 徹 さん
北海道ハイテクノロジー専門学校 臨床工学技士学科	阿部 彩香 さん
北海道工業大学 医療工学部 医療福祉工学科	池田 裕晃 さん

3名の方、受賞おめでとうございます。今後の臨床工学技術の向上、さらには医療業界全体への発展を目指し、ご活躍を期待しております。

利尻島支援 北海道医療新聞にも掲載!



(1月30日付：北海道医療新聞)

昨年末より行われております(社)北海道臨床工学技士会による利尻支援の記事が、今回1月30日付の北海道医療新聞にも掲載されました。

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ” 全国フォーラムのご案内

今日あいつぐ医療事故によって医療に対する信頼が大きく揺らいでいますが、これらを職種や立場の壁を超え、医療を担う病院と医療を支えるさまざまな団体・学会・行政・地域社会が一致協力して医療事故の防止に総力をあげて取り組むべきとの考えから、医療安全全国共同行動の実施が提案されております。

これらは

- 医療の質・安全学会理事長 高久 史磨
- 日本病院団体協議会議長 山本 修三
- 日本医師会会長 唐澤 禎人
- 日本歯科医師会会長 大久保満男
- 日本看護協会会長 久常 節子
- 日本臨床工学技士会会長 川崎 忠行

の呼びかけによりスタートしており、以下に示すように医療安全全国共同行動の8つの目標が掲げられております。

- 1.危険薬の誤投与防止
- 2.周術期肺塞栓症の防止
- 3.危険手技の安全な実施、
- 4.医療関連感染症の防止
- 5.医療機器の安全な操作と管理
- 6.急変時の迅速対応
- 7.事例要因分析から改善へ
- 8.患者・市民の医療参加

これら行動目標の5番目には、**医療機器の安全な操作と管理(輸液ポンプと人工呼吸器)**が掲げられており、臨床工学技士の役割も重要なものとなっています。

本年も全国フォーラムの開催日時や場所等決まりましたので報告します。皆様多数のご参加をお願いいたします。

詳細は医療安全全国共同行動ホームページ(<http://kyodokodo.jp/>)をご覧ください

- 【日時】平成21年5月30日(土) 10:00-17:00
- 【会場】日本教育会館
(東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)
- 【主催】医療安全全国共同行動推進会議
- 【参加費】一般 3000円 学生 500円

***** プログラム(予定) *****

■10:00-13:00 分科会ワークショップ

成功のコツと困っていることについてノウハウと経験を交流します。

- 行動目標 1:危険薬の誤投与防止
- 行動目標 2:術期肺塞栓症の予防
- 行動目標 3:危険手技の安全な実施
(経鼻栄養チューブと中心静脈カテーテル)
- 行動目標 4:医療関連感染症の防止
- 行動目標 5:医療機器の安全な操作と管理
(輸液ポンプと人工呼吸器)
- 行動目標 6:急変時の迅速対応
- 行動目標 7:事例要因分析から改善へ
- 行動目標 8:患者・市民の医療参加

■14:00 - 17:00 医療安全全国共同行動全国フォーラム

・特別講演

「入院死亡率は改善の指標になりうるか？」

(同時通訳あり)

講師：ブライアン・ジャーマン卿

(英国ロンドン大学名誉教授)

HSMR(病院標準化死亡比)と Jarrman score(健康に関わる社会経済指標)の提唱者。元英国医師会長。ブリストル事件調査委員を務め英国の医療政策転換に貢献した。

・パネル討議

「医療安全の評価について」(仮題)

・共同行動への応援メッセージ ほか。

※5月31日(日)に共同行動支援セミナーの開催を予定しています。

透析技能検定試験制度の発足と第1回2級検定試験のご案内

透析療法では、安全かつ質の高い治療技術を患者に提供することが求められていますが、医療従事者の技能を客観的に評価するシステムは未だ存在しません。透析技能をきちんと評価することは、質の高い医療の提供のみならず、医療機関における雇用促進、施設間格差是正に結びつくものと考えております。

このような趣旨の下、臨床工学技士を対象とした透析技能検定試験制度をこの度導入することになり、第1回透析技能2級検定試験を実施する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

透析技能検定試験制度協議会

会長	大平 整爾 (札幌北クリニック)
副会長	酒井 清孝 (早稲田大学教授)
実行委員長	峰島三千男 (東京女子医科大学)
試験委員長	江村 宗郎 (東葛クリニック病院)
準備委員	篠田 俊雄 (河北総合病院)
	室谷 典義 (千葉社会保険病院)
	川崎 忠行 (茂原クリニック)
	村上辰和嘉 (武蔵小杉クリニック)
	村上 淳 (東京女子医科大学)

【検定試験の概要】

1) 検定の種類

- 1級検定(上級): 維持透析全般に精通し、異常時の対応が可能な技能を検定
- 2級検定(初級): 維持透析における初歩的な業務を遂行できる技能を検定

2) 受験資格

- 1級検定: 2級検定合格者で所定の透析業務経験を有する者
- 2級検定: 臨床工学技士の国家資格をもち、透析業務に1年以上勤務した者
検定合格には有効期限(5年)を設け、更新制度を導入する予定です。

3) 検定方法

- 1級検定: 筆記ならびに実技試験
- 2級検定: 筆記ならびにバーチャル技能試験*

*映像等バーチャル技術を利用した模擬実技試験

【第1回透析技能2級検定試験の概要】

下記のように予定しております。詳細につきましては透析技能検定試験ホームページ <http://www.touseki-ginoukentei.com/> をご覧ください。

- 1) 試験日 平成21年7月26日(日) 10:00-15:00
- 2) 場所 大田区産業プラザ PiO (東京都大田区南蒲田 1-20-20)
- 3) 応募者数 先着200名
- 4) 受験料 15,000円
- 5) 願書受付 平成21年4月1日から5月31日までですが、定員になり次第締め切らせていただきます。

願書等の資料送付は平成21年3月より行います。ご希望の方は透析技能検定試験ホームページ <https://sv41.wadax.ne.jp/~touseki-ginoukentei-com/application.html> からお申し込み下さい。

第1回(社)北海道臨床工学技士会評議員会が 開催されました



第1回評議員会の様子

去る2月14日(土)ホテルサンルート札幌にて第1回目の(社)北海道臨床工学技士会評議員会が開催されました。法人化後初めての開催ということでしたが、今後の技士会の運営に当たり活発な意見が交わされ非常に有意義なものとなりました。道内各地から参加された理事、評議員の方々、お疲れ様でした。

第1回評議員会に参加して

旭川リハビリテーション病院 木村 吉治



平成21年2月14日(土)に第1回の(社)北海道臨床工学技士会評議員会が行われました。私自身、初めての評議員会ということもあり、何をやるものか見当もつかなく予習も出来ないという有様でしたが、今回は顔合

わせ程度だろうと開き直って会に参加しました。ところが、他の諸先輩達は技士会の定款の細かい部分についての意見、各地方での技士の現況、本評議員会の細則などについて積極的に意見を述べる姿を目の当たりにして、面食らってしまい、自身の非力さを痛感させられました。

知識不足ではありますが評議員会に出席して、評議員会というもの、会長や理事会の要請によって開かれる諮問の場であるだけでは理解してきました。職能団体である北海道臨床工学技士会は臨床工学技士免許を持った単一職種のみならず、様々な業務分野や立場の異なる者の集まりだといえます。具体的にいうと、透析業務専従者、機器管理専

従者、各業務を幅広くこなす者、技士の業務指針に含まれていない業務についている者、基幹病院で働く者や医院で働く者などなどですが、これらの者たちが必ずしも同じ意見、考え方で働いているとは言えないのも事実だと思われま。だからこそ選挙で選ばれた理事とは別に、幅広い層から意見を聞く場として評議員会の役割が重要であり、今後北海道臨床工学技士会の運営に有益なものとなると思われ、積極的に協力していきたいと感じました。

4~6月の予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は(社)北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

2009年 4月18日(土)~19日(日)

「第36回日本血液浄化技術学会学術大会・総会」

会場 神戸商工会議所およびクオリティホテル神戸

<http://homepage3.nifty.com/jsth2009/>

2009年 4月19日(日)

「第75回北海道透析療法学会」

会場 札幌コンベンションセンター

<http://www.dotoseki.net/>

2009年 5月9日(土)~10日(日)

「第19回日本臨床工学会」

会場 徳島県「アスティとくしま」

<http://www.jacet19.jp/index.html>

2009年 5月10日(日)

「第12回在宅血液透析研究会」

会場 札幌コンベンションセンター

<http://www.sk-clinic.jp/newpage35hhd-1.html>

2009年 5月31日(日)

「平成21年度(社)北海道臨床工学技士会総会」

会場 北大学術交流会館 2F 講堂

2009年 6月25日(木)~27日(土)

「第18回日本心血管インターベンション治療学会」

会場 ロイトン札幌 / 北海道厚生年金会館

<http://www.jsic-h.com/2009JSIC&JACCT/>

japanese/index.htm

RM ニュース

< 福岡の病院で23人院内感染

2人死亡との因果関係調査 >

福岡市の病院は23日、複数の抗菌薬が効かない多剤耐性の細菌アシネトバクターの院内感染が発生したと発表した。昨年10月から今年1月までに救命救急センターに搬送された患者を中心に男女23人が感染し、4人が死亡。うち2人については死亡と感染の因果関係が否定できないとして、詳しく調べている。病院は救命救急センターへの患者受け入れを23日から当面、中止する。

病院によると、死亡したのは20代～60代の男女4人。うち2人は別の感染症が死因だとしている。残るいずれも60代の男性2人は、症状からこの菌が死因の可能性は低いとみているが、複数の菌が検出されるなどしたため、死因を特定できていないという。

感染者23人は全員患者で、うち22人が救命救急センターで人工呼吸器を装着。その際に口に入れて使う「バイトブロック」という器具から、この菌が検出された。器具は基準に従って消毒して再利用していたが、今月6日から患者ごとに使うよう改めた。

病院では昨年12月1日までに8人の患者からこの菌が検出されたため、院内感染の可能性があると内部調査をしていた。最初の感染患者は昨年10月20日に渡航先の韓国の病院から移送されており、韓国から菌が持ち込まれた可能性もあるという。

福岡市では同病院を含めて3病院が救命救急センターの指定を受けている。福岡市は「ほかの2病院と連携し、地域医療に影響が出ないよう対応したい」と話している。

厚生労働省によると、アシネトバクターは健康な人には無害だが、病気や高齢などで体が弱った人は肺炎や敗血症などを起こし、死に至る例もある。国内での感染例は少なかったが、約10年前から抗菌薬が効かない種類のアシネトバクターへの感染例が増え始めたと言われる。厚労省は23日、院内感染防止体制の徹底を医療機関に指導するよう、都道府県や政令指定市などに通知した。



人工呼吸器を着けるときに患者の口に入れて使う「バイトブロック」

(1月23日：朝日新聞)

< 東京の眼科 滅菌装置一度も点検せず >

東京都中央区の診療所でレーシック手術を受けた67人が感染性角膜炎などを発症した問題で、院長が2006年の開院以来、手術器具の滅菌装置を一度も点検していなかったことが、中央区保健所の調べでわかった。

使い捨てにすべき患者用手術着の使い回しも判明し、区保健所は衛生管理がかなりずさんだったとみて、67人以外にも発症者がいないかどうか確認を指示した。

今回の集団感染は、角膜の表面を薄く切る道具の先端を高温で滅菌する装置の故障が一因である可能性が高いとされ、メーカーの調査で滅菌温度が十分に上がらない不具合が確認されたという。ところが、院長は区保健所の調査に対し、「点検を行ったことがなく、正常に作動していると思った」と話したという。取り扱い説明書も院内に保管しておらず、区保健所は院長が滅菌装置が適正に動いているか確認する方法さえ知らなかったと見ている。

さらに院長は、手袋を着用せずに手術したことがあるほか、手洗い用の消毒液についても「薄めて使っていた」と説明。手術室の清掃は院長が不定期に行っていたという。

(2月27日：読売新聞)

< 人工呼吸器、一時低酸素に >

岡山県の病院で2月、人工呼吸器に酸素を送る設備に異常があり、患者16人の呼吸器の酸素濃度が一時急激に低下したことが4日、分かった。携帯ボンベで酸素を送る緊急措置を取り、患者の容体に大きな影響はなかった。

病院は近く、医療事故の情報収集を行う「日本医療機能評価機構」にトラブルを報告する。

病院によると、2月14日午後2時半ごろ、集中治療室(ICU)で患者の人工呼吸器の酸素濃度が低下していることに医師が気付いた。病院内の患者が付けたすべての呼吸器の濃度が下がっており、酸素の供給源を携帯ボンベに切り替えた。

設備は岩谷産業製。同社広報・社会関連部によると、窒素と酸素の各タンクから酸素と混合空気を2つの配管で院内に供給している。何らかの原因で酸素タンクの緊急遮断弁が下がって供給が約4分間止まり、通常99.5%の酸素濃度が最低の20-30%まで下がった。予備装置も作動しなかった。

設備は1999年に設置。遮断弁を交換したことはなく、昨年12月に年1回の自主検査をした際も異常はなかったとしており、同社は詳しい原因を調べている。

病院は患者に謝罪。院長は「夜の発生なら死亡者が出たかもしれず、大変申し訳ない。再発防止のため、設備の安全強化に努めたい」としている。

(3月4日：共同通信社)

頑張れ！フレッシューズ

このコーナーは、平成19年度の卒業生で(社)北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、現在北海道工業大学 大学院にて在学中の長澤 竜馬さんです。

北海道工業大学卒業

長澤 竜馬

現在 北海道工業大学大学院

工学研究科 応用電子工学専攻



昨年の春、私は臨床工学技士国家試験に合格し、CEの免許を取得しました。今年も国家試験の時期になり、大学の後輩が国家試験の勉強を必死にしている姿をみると、一年前に猛勉強していた頃を思い出し、懐かしい気持ちになります。

そこで、私を含めた大学院生達で、少しでも彼らの力になりたいと思い、試験対策を自分から教えたり、炊き出しをしています。もしかすると、これらはよくある先輩のいらぬお世話かもしれませんが、彼らが睡眠時間を削りながらも勉強している姿をみていると、どうしても我慢ができなくてやってしまいます。

また、私は本学医療福祉工学科学生が受講している「臨床工学技士コース必修科目」のティーチング・アシスタントとして、臨床工学技士のタマ

ゴを育てる手伝いをしています。先日は、解剖学実習でラットの解剖を担当し、臓器などの形態や構造を学生に体得してもらいました。今後は、人工心肺や人工呼吸器などの実習を受け持つ予定ですので、病院実習で私の担当をして下さった臨床工学技士の先生方に教えて頂いたことを思い出しながら、学部生に分かりやすく、より具体的に教えることができればと思っています。

大学院修士課程1年の冬ということで、この不景気の中、私も就職活動に励んでいるのですが、CEの免許があるおかげもあり、現在、第1志望の某医療機器メーカーの最終面接まで来ることができました。やはり、医療機器メーカーの方々は「医療と工学の両者を専門とする臨床工学技士」という資格の重要性をご理解されているようで、面接時などにもこの点を評価して頂いたと思います。もし、入社することができれば、患者様に優しく医療従事者の方々がいやすい、より安全な医療機器の企画開発に携わりたいと考えています。すでに、新しい医療機器の構想も簡易的ですがいくつかできていますので、数年後、十数年後には、皆さんの前でお披露目できればと思っています。

真下 泰 氏 当選しました!!

前号の技士会ニュースで(社)北海道臨床工学技士会前会長の真下 泰氏が、(社)日本臨床工学技士会第5期内部役員選出選挙に出馬するという記事を掲載しましたが、このたび皆様の応援のおかげもあり、無事当選を果たしたことをお伝えいたします。

真下 泰 氏の今後のご活躍を期待しております。

FX-Sシリーズ V型ダイアライザー



優れた低分子蛋白の除去性能と
アルブミン漏出を考慮したV型ダイアライザ



Fresenius Medical Care

製造販売

フレゼニウス メディカル ケア ジャパン株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井三丁目15番1号



販売元

扶桑薬品工業株式会社
大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

NIKKISO
Original technologies

MODEL
DBG-03 個人用多用途透析装置

Propose the Remaining Plus



日機装株式会社 医療機器カンパニー

札幌支社 〒003-0807 北海道札幌市白石区菊水7条2-7-1 札幌流通倉庫東ビル7F TEL.011-826-5451 FAX.011-826-5356
北見営業所 〒090-0051 北海道北見市高栄東町1-11-34 アクティブウェルズ21 1番街-2号室 TEL.0157-22-5811 FAX.0157-22-5722

手術台販売台数 No.1

MIZUHO

瑞穂医科工業株式会社

北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地(37 山京ビル2F)
TEL 011-716-4731

'TORAY'

「モイストタイプ」

透析は新たなStageへ



トレライトCS

ポリスルホン製中空糸型透析器

IV型

特長

- ① 優れた除去性能
- ② ドライタイプと同等の取扱性
- ③ 安全性と環境への配慮

販売業者
東レ・メディカル株式会社
東京都墨田区錦糸一丁目2番1号 アルカセントラル21F 〒130-0013

製造販売業者
東レ株式会社
人工臓器事業部
東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 〒103-8666

EXCELFLO

持続緩徐式血液濾過器 エクセルフロー AEFシリーズ

生体適合性、抗血栓性に優れたポリスルホン膜を採用し、パンフローで培ったCRRT治療領域での経験と信頼性を融合させた新しい持続緩徐式血液濾過器の登場です。

旭化成クラレメディカル株式会社 アフェリシス事業部 東日本営業部
札幌営業所/〒060-0002 札幌市中央区北2条西1-1 TEL.011(261)5540

血液浄化装置
Plasauto iQ21

血液浄化のバイオニア・旭化成クラレメディカルが先進的な技術を集約したプラソートiQ21で、21世紀の血液浄化をリードします。



旭化成クラレメディカル株式会社
東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 〒103-8666
http://www.asahikasei-kuraray-medical.co.jp

**ハッピーキャス
クランプキャスCLS**

ハッピーキャスCLSは、透析患者及びそのスタッフのために開発いたしました。カテーテルには止血弁が付いていますので、内針を抜き去っても血液が漏れず、血液による感染を防止します。

販売元
メディキット株式会社

本社/〒119-0034 東京都文京区湯島1-13-2
TEL.03-3839-0201(大代表) FAX.03-3839-3977
営業所/東京・札幌・仙台・埼玉・千葉・横浜・八王子・名古屋・金沢・京都・関西
神戸・広島・岡山・福岡・南九州
流通倉庫/千葉県佐倉市・宮城県仙台市
製造販売元/東陽メディキット株式会社
宮崎県日向市大字日知屋字龜川117148-6 TEL.0982-53-8000
URL: http://www.medikit.co.jp/



血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)

日本標準商品分類番号 87 3334
薬価基準収載

生物由来製品
指定医薬品
処方せん医薬品*

ヘパフィールド®

透析用250単位/mLシリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

- 清潔操作を実現
- 薬剤汚染を防止
- 誤投薬を防止
- 調製作業を簡略化
- 充てん操作が不要
- 作業速度が向上

効能・効果、用法・用量、原則禁忌を含む使用上の注意等詳細は、現品添付文書をご参照ください。

数字と目盛りが見やすい!
内容量が確認しやすい!
より使いやすくなりました。
※製品色は赤紫色から青色に変わりました。

JMS 販売元
株式会社ジェイエムエス
広島市中区加古町12番17号

Otsuka 製造販売元
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫賀町立町子芥原115

文部科学省
株式会社ジェイ・エム・エス 第二営業部
〒140-0013
東京都品川区南大井1丁目13番5号
新南大井ビル
TEL: 03-6404-0602

バイオの力で、薬の可能性を広げる
「協和発酵キリン」誕生。

KYOWA KIRIN

協和発酵キリン株式会社

札幌支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西7丁目1番地(ダヴィンチ札幌パークフロント5F)
TEL.011-261-3127
<http://www.kyowa-kirin.co.jp>

カワスミは透析治療をサポートしています。

透析患者さん一人ひとりの体質や症状を考慮、
幅広いニーズに適切に対応する。
カワスミの透析製品バリエーション。
カワスミは透析治療をサポートしてまいります。

川澄化学工業株式会社 本社 〒140-8555 東京都品川区南大井3-28-15 TEL.(03)3763-1172
<http://www.kawasumi.jp>

PTA/バルーンカテーテル
K-フローバルーン カテーテル
医療機器承認番号:
214008ZZ005000000

ハイフラックスダイアライザー
フリージアスダイアライザー
PS-MW-UW-H-N
医療機器承認番号:
205008ZZ00516000

人工腎臓用血液回路
カーミライン
医療機器承認番号:
162008ZZ00522000

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA® Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net

株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400



北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当 仁友会 北彩都病院 臨床工学科 石川幸広
旭川赤十字病院 臨床工学課 脇田邦彦

編集委員 旭川赤十字病院 臨床工学課 奥山幸典
旭川リハビリテーション病院 木村吉治
仁友会 北彩都病院 臨床工学科 野尻 誠

印刷
前田印刷株式会社
〒078-8233
旭川市豊岡3条6丁目
2番20号
0166-34-0111